



若き演奏者たちの繰り広げるステージに期待が高まります。

世界の国から「こんにちは」 第 32 回 JAPAN TENT

日本で学ぶ世界各国の留学生が石川県内に集い、日本文化やホームステイを体験する「第 32 回 JAPAN TENT」が 8 月 22 日(木)から 28 日(水)に開催されました。市には、16 カ国 20 人の留学生が訪れ、11 世帯でホームステイを行いました。26 日(月)には、8 人の留学生が本町 3 丁目 で能を教える木戸さん宅を訪問。宝生流師範である木戸玲子さんから、扇の動作や謡など能の基本を学びました。礼儀作法や舞を実際に体験することで能の奥深さを感じているようでした。



住んでいる地域をより良くしたい！そんな思いを提案しました。

『道』は生きている？！ シリーズ北国街道を学ぶ

9 月 12 日(休)、にぎわいの里ののいち カミーノでシリーズの 4 回目となる北国街道市民学習会が開催され、多くの歴史好き市民が参加しました。長浜市学芸専門監の太田浩司氏を講師に迎え、「北近江の北国街道と協往還」と題して北近江の街道の変遷を古文書を読み解きながら解説。太田氏は、道は人が使いやすいように時代によってどんどん変わっていく『生き物』だと表現し、参加者の関心を集めていました。11 月には現地を訪ねるウォークバスツアーが企画されています。



若さ溢れる演奏で新風を吹き込む

野々市北国ジャズ街道 大学生ジャズコンボフェスティバル

11 月 24 日(日)開催予定の野々市の一大ジャズイベント「BIG APPLE in NONOICHI」。そのオープニングを飾る演奏者を決める JAZZ バトルが、8 月 22 日(休)に文化会館フォルテで行われました。2 組が出場し、ソロパートなど見せ場の後には会場から大きな拍手が起きました。優勝は県内 3 大学の 4 人組、シュード・スチューデント・カルテット。審査員のブラック ボトム ブラス バンドの YASSY さんは「音楽を楽しみながら切磋琢磨してほしい」と期待の言葉を贈りました。



仕舞「老松」にチャレンジ！扇を上手に動かしていました。

若者の力でより良いまちへ

野々市わかもの会議（本会議）

若者自らの運営で市の未来を考え市政に思いを届けることを目的に、わかもの会議の本会議が 8 月 25 日(日)に開催されました。中学生から社会人まで、25 歳以下の若者を中心に 33 人が参加。市の現状と課題を学び、グループ毎のワークショップを経て、カミーノを活用した世代間交流や若い男子向けの子育てイベントなど様々なアイデアを市長に発表しました。寄せられた発想に市長は、「今後も若者の熱い思いを届けて欲しい。思いを受けて取り組んでいきたい」と話しました。



前田土佐守家臣筆の道中記には『野々市』の記述が出てきます。

Focus

まちの話題
皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎ 227 - 6056

見合って見合って、はっけよい！ 第 23 回市小学生相撲大会

8 月 31 日(土)、小学生相撲大会が市相撲場で開催され、市内児童 120 人がまわしを締めて学年・男女別のトーナメントに参加しました。競技前には金沢学院大学相撲部による模擬戦を観戦。相撲の迫力に子どもたちは目を輝かせていました。取り組みでは、がっすり四つから投げの打ち合い、土俵際からの逆転、小柄な体格を活かした背後の取り合いなど、大人顔負けの熱戦が繰り広げられました。子どもたちは、負けて悔し泣きをする子、取り組み中に膝を擦りむきながらも痛みを我慢して次の取り組みに臨む子など様々。小さな力士たちの頑張る姿に観客は、「いける！」「まわしを持て！」と熱い声援を飛ばしていました。



一進一退の攻防に観客も見入っていました。

大会結果 ※敬称略、() 内は小学校名

	1 年生		2 年生		3 年生	
	女子	男子	女子	男子	女子	男子
優勝	松原 沙羅 (野々市)	富田 明 (野々市)	松田 芽以 (野々市)	勝田 光也 (富陽)	佐藤 こころ (御園)	星野 一嘉 (富陽)
	4 年生		5 年生		6 年生	
	女子	男子	女子	男子	女子	男子
優勝	皆田 果凜 (富陽)	源 悠太郎 (野々市)	加茂野 優亜 (御園)	濱野 真咲 (野々市)	源 のぞみ (野々市)	牧野 咲大 (館野)

市民協働の新たな第 1 歩

結ネットを活用した取り組みに関する協定を締結

町内会活動を支援するアプリ「結ネット」の利用促進に向けて、9 月 2 日(月)に市連合町内会、株式会社シーピーユー、野々市市で協定を締結しました。このアプリは電子回覧板や非常時の安否確認システムとしても利用できるもので、市内ではすでに 10 町内会が自発的に結ネットを導入。今後は全町内会でアプリの導入を目指します。市連合町内会会長の藤田さんは「この便利なアプリを上手に使用して、住民同士がつながることで安心安全な地域を作っていきたい」と意気込みを語っていました。



本アプリは県のプレミアム石川ブランド製品に認定されています。

昔の人って大変だったんだなあ・・・ 発見ののいち in じどうかん「タイムスリップ！古代体験」

8 月 21 日(水)に市内小学生 25 人が御経塚遺跡とふるさと歴史館を訪れ、古代の生活を体験しました。勾玉づくりでは、表面をピカピカにするため石をこすって磨きます。ひたすら続く作業に思わず、「昔の人は大変だったんだなあ…」というつぶやきも。お楽しみの昼食は、古代米の入ったおにぎりや薄く切って乾燥させた鮭です。少しプチプチとした古代米や鮭の食感を楽しみました。その他にも、弓矢体験や復元住居の見学などを行い昔の生活に思いを馳せる一日となりました。



ウサギやイノシシのパネルを標的に弓矢を放ちました。